



2021年8月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年1月14日

上場会社名 株式会社 大庄
コード番号 9979 URL <http://www.daisy.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平 了寿
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 野間 信護

TEL 03-5764-2229

四半期報告書提出予定日 2021年1月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年8月期第1四半期の連結業績(2020年9月1日～2020年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年8月期第1四半期	10,946	20.5	1,682		1,676		1,741	
2020年8月期第1四半期	13,768	5.2	467		438		519	

(注) 包括利益 2021年8月期第1四半期 1,763百万円 (%) 2020年8月期第1四半期 504百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円 銭	円 銭
2021年8月期第1四半期	82.98	
2020年8月期第1四半期	24.76	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年8月期第1四半期	39,813	14,369	36.1	684.65
2020年8月期	40,799	16,133	39.5	768.65

(参考) 自己資本 2021年8月期第1四半期 14,367百万円 2020年8月期 16,130百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年8月期		6.00		0.00	6.00
2021年8月期					
2021年8月期(予想)					

2021年8月期の配当予想につきましては、新型コロナウイルス感染拡大が業績へ大きく影響することが見込まれることから、現時点での2021年8月期の配当予想は「未定」とさせていただきます。業績への影響を精査したうえで決定・公表させていただきます。

3. 2021年8月期の連結業績予想(2020年9月1日～2021年8月31日)

2021年8月期第2四半期累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染拡大により現時点で業績予想の合理的な算出が困難な状況にあるため、「未定」としております。業績予想の合理的な算出が可能となった段階で速やかに公表させていただきます。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年8月期1Q	21,198,962 株	2020年8月期	21,198,962 株
期末自己株式数	2021年8月期1Q	213,760 株	2020年8月期	213,720 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年8月期1Q	20,985,205 株	2020年8月期1Q	20,985,328 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い経済活動が大きく制限を受ける中、企業収益や景況感が悪化し、個人消費も落ち込むなど極めて厳しい状況で推移いたしました。また感染拡大の収束時期は未だ見通せず、先行きも不透明な状況が続いております。外食業界におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた各自治体からの営業自粛要請やインバウンド需要の消失、さらにテレワークの普及や新しい生活様式の変化等により店舗を利用した飲食が減少し、デリバリーやテイクアウトの利用が増加するなど、経営環境が大きく変化しております。

このような状況下において、当社グループは、「日本の台所」の役割を果たしていくとともに、企業価値の向上を目指し早急な業績の改善を図るため、引き続き新型コロナウイルス感染症対策を継続するとともに、テイクアウト・デリバリーサービスの推進、外販事業の強化、宴会を含めた店舗利用の在り方へのフレキシブルな対応強化、全社的な経費削減への取組み、リブランディングの推進継続等の施策に取り組みました。

店舗展開におきましては、新規出店を2店舗、店舗改装を1店舗で行った結果、当第1四半期連結累計期間末における直営店舗数は前連結会計年度末に比べ2店舗増加の473店舗となりました。なお、F C店舗を含めた当社グループ店舗数は6店舗減少の580店舗となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同期に比べ20.5%減少の10,946百万円となりました。

セグメント別では、飲食事業につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大が継続する中で、各自治体からの営業時短要請に伴う一部営業時間等の制限等も影響し、当社グループの既存店売上高が対前年比59.6%と減少したことにより、売上高は前年同期に比べ41.0%減少の6,116百万円となりました。

卸売事業につきましては、グループ外部取引先への食材卸売が増加したことにより、売上高は前年同期に比べ166.5%増加の2,428百万円となりました。

不動産事業につきましては、転貸を含む賃借物件の家賃収入が減少したこと等により、売上高は前年同期に比べ5.7%減少の287百万円となりました。

フランチャイズ事業につきましては、フランチャイズ店舗の減少に伴いロイヤリティ収入が減少したこと等により、売上高は前年同期に比べ22.1%減少の77百万円となりました。

運送事業につきましては、物流子会社が行うグループ外部取引先への配送業務が減少したことにより、売上高は前年同期に比べ1.4%減少の1,939百万円となりました。

その他事業につきましては、売上高は前年同期に比べ23.3%減少の96百万円となりました。

利益面につきましては、営業損失は1,682百万円（前年同期は営業損失467百万円）、経常損失は1,676百万円（前年同期は経常損失438百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は1,741百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失519百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は13,156百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,312百万円減少となりました。これは、現金及び預金が1,724百万円減少したこと等によるものであります。

また、固定資産は26,642百万円となり、前連結会計年度末に比べて326百万円増加となりました。これは、水産子会社米川水産株式会社で不動産買換えに伴い借地権が791百万円増加したことに対し、差入保証金及び敷金が405百万円減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は8,871百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,148百万円増加となりました。これは、一年内返済予定の長期借入金が336百万円増加したこと等によるものであります。

また、固定負債は16,571百万円となり、前連結会計年度末に比べて371百万円減少となりました。これは、長期借入金が297百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は14,369百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,763百万円減少となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純損失1,741百万円を計上したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年8月期通期連結業績の見通しにつきましては、今般の新型コロナウイルス感染拡大が継続する中で、1月7日及び13日に政府より発出された緊急事態宣言により、飲食事業に与える影響は依然として不透明な状況にあります。

つきましては、当感染症が与える影響を合理的に算定することが困難であることから、通期連結業績予想は引き続き未定とさせていただきます。

当社といたしましては、引き続き当感染症対策を継続するとともに、テイクアウト・デリバリーサービスの推進、外販事業の強化、宴会を含めた店舗利用の在り方へのフレキシブルな対応強化、全社的な経費削減への取組み、リブランディングの推進継続など、様々な施策に取り組んでまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,173	9,449
売掛金	1,733	1,998
商品及び製品	539	556
仕掛品	0	0
原材料及び貯蔵品	121	124
その他	946	1,080
貸倒引当金	△47	△53
流動資産合計	14,468	13,156
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,343	9,203
機械装置及び運搬具(純額)	824	796
工具、器具及び備品(純額)	487	459
土地	3,785	3,785
リース資産(純額)	579	559
建設仮勘定	161	157
有形固定資産合計	15,183	14,962
無形固定資産		
借地権	913	1,704
ソフトウェア	385	342
その他	137	137
無形固定資産合計	1,435	2,184
投資その他の資産		
投資有価証券	1,036	1,248
出資金	3	3
長期貸付金	13	12
差入保証金	5,577	5,327
敷金	2,890	2,734
繰延税金資産	34	32
その他	181	175
貸倒引当金	△40	△40
投資その他の資産合計	9,696	9,495
固定資産合計	26,316	26,642
繰延資産		
社債発行費	15	14
繰延資産合計	15	14
資産合計	40,799	39,813

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,324	1,542
短期借入金	40	190
1年内返済予定の長期借入金	3,198	3,535
1年内償還予定の社債	130	130
リース債務	98	98
未払金	1,613	1,666
未払法人税等	115	33
未払消費税等	376	260
賞与引当金	376	429
株主優待引当金	138	95
店舗閉鎖損失引当金	4	10
資産除去債務	14	14
その他	291	865
流動負債合計	7,723	8,871
固定負債		
社債	685	620
長期借入金	11,272	10,974
リース債務	546	523
退職給付に係る負債	1,886	1,891
役員退職慰労引当金	182	177
受入保証金	595	603
資産除去債務	1,218	1,240
繰延税金負債	551	532
その他	5	7
固定負債合計	16,943	16,571
負債合計	24,666	25,443
純資産の部		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	18,740	14,794
利益剰余金	△2,612	△407
自己株式	△250	△250
株主資本合計	15,977	14,236
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	157	136
土地再評価差額金	△5	△5
その他の包括利益累計額合計	152	131
非支配株主持分	2	1
純資産合計	16,133	14,369
負債純資産合計	40,799	39,813

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2019年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2020年11月30日)
売上高	13,768	10,946
売上原価	5,880	6,107
売上総利益	7,888	4,838
販売費及び一般管理費	8,356	6,521
営業損失(△)	△467	△1,682
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	1	3
受取保険金	23	6
貸倒引当金戻入額	0	0
受取損害賠償金	3	1
その他	13	17
営業外収益合計	43	29
営業外費用		
支払利息	7	13
貸倒引当金繰入額	-	0
その他	6	9
営業外費用合計	14	23
経常損失(△)	△438	△1,676
特別利益		
固定資産売却益	0	0
受取補償金	-	97
特別利益合計	0	98
特別損失		
固定資産除却損	19	1
店舗関係整理損	6	2
減損損失	27	8
店舗閉鎖損失引当金繰入額	7	9
固定資産圧縮損	11	-
新型コロナウイルス感染症による損失	-	106
特別損失合計	73	129
税金等調整前四半期純損失(△)	△511	△1,706
法人税、住民税及び事業税	58	41
法人税等調整額	△52	△6
法人税等合計	5	35
四半期純損失(△)	△516	△1,742
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	3	△0
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△519	△1,741

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2019年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2020年11月30日)
四半期純損失(△)	△516	△1,742
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11	△21
その他の包括利益合計	11	△21
四半期包括利益	△504	△1,763
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△507	△1,762
非支配株主に係る四半期包括利益	3	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う会計上の見積りについて)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う会計上の見積りについて)に記載した新型コロナウイルス感染症による影響に関する前提について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年9月1日 至 2019年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	飲食事業	卸売事業	不動産事 業	フラン チャイズ事 業	運送事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	10,359	911	304	99	1,968	13,642	126	13,768	-	13,768
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	2,275	87	0	299	2,663	85	2,748	△2,748	-
計	10,359	3,187	392	99	2,267	16,305	211	16,517	△2,748	13,768
セグメント利益又は損失 (△)	△80	△12	100	43	3	54	8	62	△530	△467

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食器及び調理備品類販売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△530百万円には、セグメント間の取引消去137百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△668百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「飲食事業」セグメントにおいて、店舗資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間において25百万円であります。

「不動産事業」セグメントにおいて、その他の資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間において0百万円であります。

「フランチャイズ事業」セグメントにおいて、その他の資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間において1百万円であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自2020年9月1日至2020年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	飲食事業	卸売事業	不動産事 業	フラン チャイズ事 業	運送事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	6,116	2,428	287	77	1,939	10,849	96	10,946	-	10,946
セグメント間の内部売 上高又は振替高	0	1,534	81	0	240	1,856	59	1,916	△1,916	-
計	6,117	3,962	368	77	2,180	12,706	156	12,862	△1,916	10,946
セグメント利益又は損失 (△)	△1,289	△45	96	24	15	△1,198	△11	△1,209	△472	△1,682

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主な事業はミヤビパンの製造・販売であります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△472百万円には、セグメント間の取引消去137百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△609百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(固定資産に係る重要な減損損失)

「飲食事業」セグメントにおいて、店舗資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間において2百万円であります。

「フランチャイズ事業」セグメントにおいて、その他の資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間において5百万円であります。

(重要な後発事象)

今般発生している新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、当社店舗の売上高減少等の影響が生じております。加えて1月7日及び13日に政府が発出した緊急事態宣言を受け、当社では直営店舗の時短営業を行っております。また、一部店舗においては状況に応じて臨時休業としております。これらの影響により、当社グループの財政状態、経営成績及びキャッシュフローの状況に重要な影響を与える可能性があります。影響額については、提出日現在では合理的な算出が困難な状況にあります。